

平成27年

壱岐市議会定例会9月会議

行政報告

壱岐市

目 次

1. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 離島振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2) 全国離島交流中学生野球大会について・・・・・・・・	2
(3) 第2次壱岐市総合計画と壱岐市総合戦略について・・・・・・・・	2
(4) 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)について・・・・・・・・	3
2. 交流人口の拡大	
(1) 観光振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(2) 婚活事業について・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(3) 壱岐なみらいづくりプロジェクト事業について・・・・・・・・	6
3. 産業の振興	
(1) 農業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(2) 水産業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(3) 商工業の振興と雇用対策について・・・・・・・・	8
4. 市民	
(1) 市立特別養護老人ホームについて・・・・・・・・	9
5. 環境	
(1) 低炭素の島づくりについて・・・・・・・・	10
6. 建設	
(1) 道路、河川等の整備について・・・・・・・・	10
7. 教育	
(1) 中学校教科用図書の採択について・・・・・・・・	11
(2) 全国国分寺サミットの開催について・・・・・・・・	12
8. 防災、消防・救急	
(1) 防災、消防・救急について・・・・・・・・	12
9. 議案説明	
(1) 補正予算について・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(2) その他の議案について・・・・・・・・	14
10. おわりに ・・・・・・・・・・・・・・・・	15

行政報告

平成27年壱岐市議会定例会9月会議

1. はじめに

本日ここに、平成27年壱岐市議会定例会9月会議にあたり、前会議以降、今日までの市政の重要事項等、また今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

(1) 離島振興について

国境離島新法制定に向けた取り組みについて、7月21日から22日にかけて、県内国境離島である対馬市、五島市、小値賀町、新上五島町と本市の3市2町の市町長、議員、期成会等関係者及び、山本県議をはじめ関係県議会議員皆様ご同行のもと、総勢27名が、自由民主党離島振興特別委員会委員長 谷川弥一衆議院議員と金子原二郎参議院議員のご案内をいただき、関係国会議員皆様への要望活動を行ったところであります。

また、本法案は、野党側との協議を進める必要があることから、8月7日に、中村知事をはじめ関係市町長等と民主党国会議員皆様への要望、さらに、8月21日には、全国離島振興協議会長として、民主党 島の振興議員連盟への要望を行ったところであります。

本法案の今国会成立については、安保法制等の関係で予断を許さない状況となっておりますが、今後も、関係皆様と一体となって早期成立に向け、全力で推進してまいりますので、議員各位、市民皆様のさらなるご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

(2) 全国離島交流中学生野球大会について

「国土交通大臣杯第8回全国離島交流中学生野球大会」通称「離島甲子園」は、台風15号の影響を心配しておりましたが、1日開催を順延して、8月26日から27日まで長崎県五島市で開催されました。壱岐市選抜チームは、第1回戦で小笠原・母島中学校に34対0で見事勝利しましたが、第2回戦で宮古島アララガマボーイズと対戦し、見事なチームワークですばらしい試合を行いました。1対2で惜敗いたしました。

島の希望である子どもたちが、全国から集結した本大会は、野球を通して「島」と「島」の交流を図ることにより、新たな人間形成や健全な青少年の育成に資するとともに、子どもたちのみならず全国の離島住民に夢や感動、希望を与えてくれるものと確信しております。

(3) 第2次壱岐市総合計画と壱岐市総合戦略について

第2次壱岐市総合計画並びに「まち・ひと・しごと創生法」に基づく壱岐市総合戦略については、6月会議で平成27年9月までに策定する旨、報告しておりましたが、現在、素案を壱岐市総合計画審議会に諮問しております。また、総合戦略の策定については、「壱岐市人口減少対策会議」や産官学金労言等の幅広い関係者による「壱岐市まち・ひと・しごと創生会議」等におけるご意見を基に、骨子案の調整を行っております。

このため、今しばらく各審議会等での議論が必要なことから、次期10月会議において、最終案をご報告させていただきたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

なお、地方創生及び地域振興策を着実に推進するため、政策企画課及び観光商工課の両課に関連する市長特命事業等に当たる実行部隊として、9月1日付けで、企画振興部に「地域振興推進室」を新設したところであります。今後も、本市の創生を、強力に推進してまいります。

(4) 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)について

マイナンバー制度は、住民票を有する全ての皆様に、1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるもので、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤であります。

本制度については、これまで鋭意準備を進めてまいりましたが、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる番号法が10月5日から施行されることに伴い、全ての市民皆様へ、個人毎に12桁の個人番号を通知するための「通知カード」が簡易書留で送付されることとなります。

また、平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続において個人番号の利用が開始され、申請により個人番号カードの交付を受けることができます。

一方、マイナンバー制度における個人情報の漏えい防止等安心・安全の確保を図るため、番号法施行に関連する、壱岐市個人情報保護条例の一部改正、また、壱岐市手数料条例の一部改正議案を提出しております。

なお、今後、特定個人情報の庁内連携等に関する条例整備を予定

しておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

併せまして、番号制度を円滑に導入するため、国においては、平成27年度予算で、個人番号カード交付事務費補助金が追加措置されたことに伴い、今回、所要の予算を計上しております。

2. 交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年1月から7月末までの乗降客数累計は、382,817人、対前年比100.01パーセントでありました。

今夏は、7月下旬に接近した台風の影響もありましたが、比較的天候に恵まれ、また、楽天トラベルの「2015年夏人気急上昇離島ランキング」で壱岐島が全国約6,800の離島の中から第3位にランク入りするなど大きな注目を集めたところであります。

また、長崎県及び県内離島各市町一体となって取り組んでいる20%のプレミアム付商品券「しまとく通貨」や長崎県観光連盟による「ながさきアイランドキャンペーンふるさと割」として、壱岐をはじめ長崎県を訪れる皆様が旅行業者のパッケージツアーを申し込まれた場合、一人最大5,000円、宿泊サイトでホテルを予約された場合、一人最大3,000円お得となる商品も発売されるなど、離島が元気になる取り組みを実践し、交流人口の拡大に大きな効果を上げてまいりました。

さらに、情報発信・誘客活動として、8月5日に、テレビ朝日の

「ナニコレ珍百景」において、芦辺町箱崎諸津触の巨大な石垣が紹介され、見事「珍百景」に認定されるなど注目を集めました。

8月15日には、フジテレビ系列の「虹色ジーン」において、タレントの山口^{やまぐち} 智充^{ともみつ}さんによる壱岐ロケの放送がなされ、全国に壱岐の島のPRが図られたところでもあります。

来る9月19日（土）には、午後9時からNHK総合において、明治から昭和にかけて日本の電力の普及と振興に努め、日本の産業経済発展の基礎を築き、「日本の電気王」・「電力の鬼」と称された壱岐出身の松永安左エ門翁の活躍を取り上げたドラマ『鬼と呼ばれた男～松永安左エ門』が、放送をされることになっております。

テレビやラジオによる宣伝、PR効果は非常に大きく、今後も、各種番組の収録やドラマなどにおいて、壱岐市を取り上げていただけるよう働きかけを積極的に展開してまいります。

次に、7月11日に、大型客船「ぱしふいっくびいなす」が入港し、476人のお客様が来島され、壱岐を満喫されました。また、10月にも大型客船が入港する予定となっております。

平成28年秋に開催される長崎デスティネーションキャンペーンに向け、キックオフイベントとして、8月27日から29日にかけて、博多駅前広場において、郷土芸能、観光PRを長崎VS熊本と題してキャンペーンを実施し、PRを行いました。

11月18日には、全国の旅行会社や観光関係者など約500人が参加される「全国宣伝販売促進会議」がホテルニュー長崎で開催されます。壱岐市も観光PRブースを出展する予定であり、翌11月19日からは、旅行会社の方々が県内7コースに分かれて周遊さ

れることとなっております。その中で「対馬・壱岐コース」として設定されており、対馬市は日帰りとなっておりますが、本市には宿泊される予定となっております。これを好機として、壱岐の魅力を余すことなくお伝えできるよう情報発信に努めてまいります。

(2) 婚活事業について

来る11月14日から15日にかけて、第3回イキイキお結び大作戦と題して、婚活イベントを本市で開催します。今回は、国の実証実験事業に、全国3カ所の内の1カ所に選ばれ、総務省の外郭団体である一般財団法人地域社会ライフプラン協会主催により、県及び市と地元実行委員の共催で行うものであります。本番に向けて事前に東京での女性参加者向けのPRイベントや市内男性参加者のセミナーを開催することとしております。多くのカップルが誕生し、地方創生に寄与していただけることを期待しております。

(3) 「壱岐なみらいづくり」プロジェクト事業について

観光客誘致、人口増につながる新しい産業育成、住みやすいまちづくりなどをテーマに、市民皆様が中心となり、夢を実現していくことで、壱岐の輝かしい未来を創造していく「壱岐なみらいづくりプロジェクト事業」を行うため、今回、所要の予算を計上しております。

この事業は、対話技術を活用した未来志向型ワークショップを通じ、市民皆様と行政が現状の課題を共有し、お互いの想いに共感して、壱岐の未来について共創するものです。

今回の事業では、コミュニケーションの研究において高い評価を受けている富士ゼロックスと連携して行うことで、産官学連携の

様々な実践を通じたコミュニケーションモデルを通じ、個性豊かで持続的成長を生み出す地域コミュニティ創りを目指してまいります。

また、富士ゼロックスの持つ最新のソリューションや一流企業とのネットワークも活用することで、他に類を見ない、これからの離島ベンチマークモデルが創造できるものと大いに期待しております。

3. 産業の振興

(1) 農業の振興について

本年は、平年より10日遅く梅雨明けとなり、その後は高温・少雨が続いておりましたが、ここにきて、秋雨前線による雨が続いておりますので、今後も、農作物の管理には十分注意を払っていただきますようお願いいたします。

こうした中、本年産の葉たばこは、成熟期の天候不順により立ち枯れ病の影響を受け、10アール当たり221kgの収量見込みであり、10月7日から収納が予定されております。

次に、水稻について、去る8月21日に「つや姫」生産県の生産者相互の連携強化とブランド力の向上を目指すため「全国つや姫フォーラム2015 in ながさき」が本市で開催されました。約600人の皆様が一堂に会し、「つや姫」の認知度向上、販路拡大に向けた取り組みの推進が確認されたところであります。本市の「つや姫」は、191ha作付けされており、日照不足等はありませんでしたが、昨年とほぼ同じ収量（518kg）が見込まれております。

次に畜産については、全国的な繁殖農家の減少により、素牛不足で依然高値の取引となっており、8月の子牛市では、平均で前回比

103.51%の68万1千円となっております。

しかしながら、高齢化・後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数が減少をしておりますので、今後も産地維持のため、繁殖基盤の強化に努めてまいります。

次に、7月発生の農地及び施設災害については、10月5日に査定が行われるようになっております。査定後は早急に事務手続きを進め復旧工事に着手してまいります。

(2) 水産業の振興について

本年1月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年と比較いたしますと、漁獲量は、4,458トンで15%の増であり、漁獲高は、27億4百万円で5%の増収となっております。

一方、組合員数は、昨年より56名減の1,017名となっております。漁獲量、漁獲高とも増加はしておりますが、依然として漁家経営は厳しいものがあります。

このような状況の中、燃油高騰対策として1リットル当たり10円の補助を実施するため、今回、所要の予算を計上しております。下半期へ向けて漁獲高のさらなる増加を願うところであります。

今後も、非常に厳しい状況にある水産業の振興については、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携を図りながら積極的に取り組んでまいります。

また、県営事業による漁港・港湾の整備、改修工事に係る負担金について、今回、所要の予算を計上しております。

(3) 商工業の振興と雇用対策について

しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」の長崎県全体の販売状況

は、7月末現在431,532セットを販売しており、本年度は第1四半期で対前年度比1.56倍の伸びとなっております。要因としては、しまとく通貨の浸透と観光客の旅行商品が増加したことと分析しております。

また、地方創生の地域消費喚起・生活支援型で、壱岐市商工会及び壱岐市農協・各漁協と連携した「プレミアム商品券」については、8月19日現在子育て支援も併せまして、55,000セットのうち、44,336セットの約80%を販売している状況であります。使用期限は、12月31日までですので、市民皆様のご活用をお願いいたします。

7月23日にハローワークと合同で、高校2年・3年の生徒を対象に、卒業後の進路選択の参考にしてもらうとともに、地元就職を促進することを目的として、合同企業説明会を、今回初めて開催いたしました。市内5社の企業、生徒52名、保護者16名等合わせて95名の参加があり、第1部では各企業からの説明、第2部では各ブースに生徒皆さんがそれぞれ移動し、説明・質疑が行われたところであります。生徒皆さんからは企業の内容や生の声が聞けて良かった、保護者皆様からは、今後も続けてもらいたい等の要望もあり、今後、本事業を引き続き実施するとともに、企業への支援等を含め、雇用の確保に全力で取り組んでまいります。

4. 市民

(1) 市立特別養護老人ホームについて

市立特別養護老人ホーム及び同附属デイサービスセンターについ

ては、本年10月1日付で現施設のまま民間に移譲し、平成30年度末までに新施設を整備いただく方針で進めており、現施設で行っている各事業は9月30日を以て廃止する旨の事業認可廃止届を県へ提出したところであります。同時に、移管先である社会福祉法人壱心会におかれては、10月1日からの事業開始に向け事業認可申請が提出されております。

また、新施設の建設に向けて、建設予定地に係る建物の解体及び排水路整備や敷地周囲の擁壁築造など平成28年度の工事実施に向けた準備のため、今回、所要の予算を計上しております。

5. 環境

(1) 低炭素の島づくりについて

本年7月に、環境省の「低炭素地域づくり推進事業」の採択を受け、低炭素の島づくりに向けた事業化計画の策定や再生可能エネルギーの導入・活用の促進を図るための実現可能性調査に着手したところであります。

今後、本調査の結果等検証しながら、低炭素の島づくりを積極的に推進してまいります。

6. 建設

(1) 道路、河川等の整備について

市道整備について、経済対策の一環として6月補正において、道路整備工事に必要な所要の予算を計上しておりますが、さらなる経済対策として、市道の維持補修工事並びに単独で行っている市道の

改良工事等の早期完成を図るため、今回、所要の予算を計上しております。

7. 教育

(1) 中学校教科用図書採択について

平成28年度から中学校で使用する教科書を、適正かつ公正に選定・採択するため、壱岐市教科書採択協議会が規約に基づき開催されました。

5月29日に、地域及び保護者代表を交えた第1回協議会において、方針等が確認され、6月16日に、教科ごとに任命された調査員により、各教科の選定調査が行われました。

6月19日から7月8日まで、壱岐市教科書センターで見本教科書を展示し、市民皆様に閲覧していただき、意見や感想を聴取するとともに、各中学校でも同じ期間展示し、全ての教職員が閲覧しました。

さらに、7月14日に選定委員会を開催し、調査員会の報告を受け、選定観点に基づいて選定作業が行われました。8月20日に、第2回の教科書採択協議会を開催し、教科ごとに選定委員会の報告を受け、選定観点に基づいた審議の上、採択案が承認されました。

8月26日の教育委員会で、壱岐市教科書採択協議会から提示された案について協議が行われ、平成28年度使用の中学校教科用図書が決定されたところであります。

採択された教科書については、本市のホームページ（子育て・教育）で閲覧することができます。

(2) 全国国分寺サミットの開催について

第10回国分寺サミットを来る10月17日(土)から10月18日(日)の2日間、壱岐島内で開催します。本サミットは、日本全国に残る国分寺跡を通じて、国分寺が建立された意義を再確認し、併せて国分寺跡を所在している自治体との交流を深め、文化財を活かしたまちづくりに寄与することを目的としております。

遠くは栃木県下野市しもつけをはじめ全国から13市町が参加予定であり、17日に一支国博物館多目的ホールにてシンポジウムを開催します。翌18日には島内の文化財を巡るバスツアーが計画されておりますので、参加自治体との情報交換を通じて、新たな連携を深めてまいります。

8. 防災、消防・救急

(1) 防災、消防・救急について

去る8月25日に九州地方を縦断した台風15号は、本市においても最大瞬間風速29.5メートルを記録するなど、強い勢力を保ったまま本市に接近いたしました。このため、自主避難施設の開設や告知機による市民皆様への注意喚起等を行ったところであります。被害の状況については、強風によるハウス本体及びビニールの破損等の被害が16件、農作物については、普通期水稻等を含め、現在確認中ではありますが、現時点においては、大きな被害は発生しておりません。

今後も、台風災害を始めとした自然災害に対し、関係機関と十分連携を図り、防災対策に万全を期してまいります。市民皆様には、

日頃の備え、避難場所の確認など今一度、防災対策の確認をお願いいたします。

なお、去る6月30日に、市内郵便局と災害発生時における協力に関する協定を締結しました。今後、郵便局の幅広いネットワークを活用し、安否の確認、災害時における被災状況などの情報提供等防災対策に活かしてまいります。

また、11月8日には、石田町印通寺港一帯において、平成27年度壱岐市防災訓練を開催することとしております。災害時における初動体制の確立、関係機関との連携等、それぞれの災害に対応した訓練を行ってまいりますので、市民皆様のご協力をお願いいたします。

さて、今年の夏は、全国的に猛暑となり、市内では、高齢者を中心に8月末日現在、19名の熱中症による患者を救急搬送しております。今後も、残暑が予想されますので、屋外での作業等の折は必ず、こまめな水分補給を行っていただくとともに、室内においても室温や湿度が高いために熱中症になることがありますので、エアコンや扇風機等を有効に使用するなど、体調管理に十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

救急業務においては、救急救命士の心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与の処置拡大に伴い、教育養成を行っており、8月から処置拡大を実施しております。今後も、教育・訓練に努めさらなる救急隊員の資質向上と救命率の向上を目指してまいります。

9月9日の「救急の日」には、壱岐医師会をはじめ救急医療機関

のご協力を得て、多数傷病者に対応する訓練を実施し、救急医療関係者の連携強化及び意識の高揚を図ってまいります。

9. 議案説明

次に議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出した補正予算の概要は、

一般会計補正総額 7億7,709万7千円

各特別会計の補正総額 8,254万1千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

8億5,963万8千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

222億9,100万6千円

で、特別会計については、

113億8,906万3千円

となります。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告2件、平成26年度各出資法人の経営状況等に係る報告4件、平成26年度財政健全化判断比率等の報告1件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての案件1件、条例の一部改正に係る案件3件、予算案件7件、平成26年度各会計決算認定11件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせていただきますのでご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願いいたします。

10. おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題等に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいる所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成27年9月4日

壱岐市長 白川博一